



プロジェクト名称

空き家改修プロジェクト

プロジェクト活動概要

静岡県加茂郡東伊豆町における空き倉庫の改修プロジェクトです。地元消防団器具倉庫跡を、地元住民との協働で「まちのシェアキッチン」へ改修し、地域コミュニティの拠点づくりに取り組んでいます。東日本大震災以降、被災地に限らず地域コミュニティの重要性が問われている中、対象地である東伊豆町には地元住民が気軽に集まることが出来るような場所がなく、コミュニティの希薄化が問題視されています。また、少子高齢化・過疎化に伴い、空き家・空き倉庫の増加が問題となっています。そこで、使用されなくなってしまった空き倉庫にキッチンやプロジェクターを設え、地域コミュニティの拠点づくりを目指しています。また、東伊豆町を訪れる観光客には、「食」に関心をもつ方が多いというデータもあり、「食」を通して観光客と地元住民が交流する場として機能することも期待できます。空き家を改修することが目的ではなく、その後どのように地域に寄与するのかも視野に入れたコミュニティの場づくりを考えています。

活動状況報告&活動写真など 活動期間：2016年1月1日～3月31日

2月27日、28日にオープニングイベントがあったので、1月はプロジェクターの取り付けや役場の方と企画・打ち合わせを行いました。オープニングイベントに向けて細かな施工を行いました。また、週1回のミーティングで、次回の細かな施工や今後の活動、オープニングイベントに向けて話し合いました。

- ・1月29日～31日：現場施工
 - プロジェクターの取り付け
 - 鍵の取り付け
 - キッチンの高さ調整
 - 階段の塗装
 - 階段下収納棚の切り出し
 - 無垢仕上げ部分の塗装
 - 東伊豆町空き家利活用推進協議会（町役場主催の地元住民団）との協議



↑階段の塗装



↑鍵の取り付け



↑階段下の収納棚の部材の切り出し



↑ウエスタンドアの部材の切り出し



↑プロジェクターを取り付けている様子



・ 2月18日～20日

→階段下の収納棚作成

→キッチン裏の収納棚

→広報 (Facebook、電車吊り広告、リーフレットの作成など)

→階段下にポスト取り付け

→土間部分の施工



↑電車の中吊り広告



↑階段下の収納棚



↑キッチン裏の収納棚



↑シャッター部分にポスト取り付け



- ・ 2月26日～28日
 - オープニングイベントの準備
 - オープニングイベント（2月27日、28日）

2月27日、28日にダイロクキッチンの竣工に合わせ、空き家利活用推進協議会との共同主催でオープニングイベントを開催します。ダイロクキッチンの認知度を向上させるとともに、多様な利用方法を提案することを目的としています。

本イベントのプログラムのことをレシピと称し、市場、バー、食堂、劇場の4部構成で企画しています。レシピによってパレットの置き方を変えることで、多用途に対応可能な空間であることを示唆することを考えています。また、地元住民だけでなく観光客への広報として、リーフレットやポスターを作成し旅館や商店での掲示や、伊豆急行車両内に広告を出すことを考えています。



↑ 地元の高校生も出店するなど、地域と一緒に
なってイベントを実施



↑ オープニングイベントの際のテープカット

オープニングイベントでは、東伊豆町長などとともにテープカットを行い、地場産野菜や静岡県立稲取高校の生徒がつくったケーキなどの販売をはじめ、地元グルメ「かき菜の雑煮」の無料配布などを実施しました。

この他にも夜には酒場を開き、地元のお酒を提供して人々の交流の場を持ち、稲取の企画を実施し、地元自治体や学校、住民などと一体になって完成のお披露目を行いました。期間中は、地元住民や観光客などが多く立ち寄り、交流を行う場面が多くみられました。



【オープニングイベント概要】

イベント名「ダイロクレシピブック 2015-2016」

・2月27日（土）

レシピ1：ダイロク市場

地場産野菜と稲取高校被服食物部によるケーキ[※]の販売

（※"ふじのくに" まち自慢 食の祭典！2015 B級グルメスタジアム in エコパ 出展）

レシピ2：ダイロクBAR

スポーツ鑑賞をしながら、お酒と料理をふるまうスポーツバー

・2月28日（日）

レシピ3：ダイロク食堂

地元の方々になじみのある「かき菜」を使った雑煮をふるまう

レシピ4：ダイロク劇場

地元縁のある映画を上映するシアター



↑キッチン設備を整え、「食」を通じて地域の交流促進をした



↑町内外から多くの来場者が訪れ、互いに交流する機会となった



↑かき菜の雑煮を振る舞い、地元の方や観光客の方と交流を深めた



↑ダイロク市場の地場産野菜を売っている様子



今後の活動計画、目標、意気込みなど

今後は、プロジェクトの学生を中心に NPO 法人を立ち上げて管理・運営を行っていき、希望者を募って期間限定のショップを開けるような場所として機能させ、定期的にイベントを開催して稲取を盛り上げていく拠点づくりを続けていく予定です。

2014 年度は東伊豆町稲取の住宅地にある空き家を地域のコミュニティスペースと改修し、今回の物件が 2 軒目のダイロクキッチンとなります。

また、来季からは 3 期目となる新しい物件を改修するために活動を開始しています。

1 月 31 日～3 月 21 日の期間で稲取港～伊豆大島をつなぐ高速ジェット船の運航が大島で開かれる「椿(つばき)まつり」に合わせて、13 年ぶりに再開されました。

私たちはチケット売り場となる「岬の館」を、地域活性の新たな拠点となるような建築にするべく、来年度も改修に取り組んでいきます。



↑ 来年度改修する物件「岬の館」



↑ 物件から見た景色